

公表:平成 4年3月31日

事業所名 ヨシア(野の花・第3単位)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	○			感染予防を踏まえ て、適切な距離を保 てるように活動した。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			利用人数に対して、 必要配置以上に確保 されている。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか	○			室内はバリアフリー 化されている。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			1~3期で目標を設 定し振り返りを行っ た。また、毎週GSVで 目標を設定し振り返 りをする。	必要に応じて業務改善を 行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	○			面談でアンケートを 行い、保護者の意向 を把握し業務改善に 努めている。	アンケートをもとに、必要に 応じて業務改善を行って いきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	○			法人のホームページ に公表している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげているか	○			外部によるコンサル テーションを受けてい る。	コンサルテーションを受け、 必要に応じて業務改善を 行っています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	○			法人内の毎月の朝 研修、外部研修で、 専門性を学んでい る。	積極的に研修に参加し、学 びを深めています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課 後等デイサービス計画を作成しているか	○			年2回 放課後等デイ サービスの計画のた めの面談を行い、計 画を作成している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	○			共通のアセスメント ツールを使用してい る。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎週、クラス会議を 行い、チームで話し 合い活動を立案して いる。	引き続き、チームで立案を 行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	○			学習活動の内容を、 双六、カルタなどを 取り入れ、楽しく学 べるように工夫して いる。	活動のバリエーションを増 やしていきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	○			長期休暇は、子ども の学習課題が提出期 限まで終わるように、 計画表を作成し学習	長期休暇での課題を計画 的に進めています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画 を作成しているか	○				

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日リーダー、サブリーダー、アシストが何を行うかを確認した。	職員間のコミュニケーションを大切にしていきます。
---	---	---	--	--	--------------------------------	--------------------------

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			エピソード記録を毎日記入し、クラス職員間で、内容の共有を行った。	職員間のコミュニケーションを大切にしていきます。
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録必ずとっている。	
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービスの見直しの必要性を検討した。	
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主に、児童発達支援管理責任者が参加した。	
	⑩㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			高校と年2回の情報交換会を行い、子どもの下校、トラブル発生時の連絡を適切に行った。	引き続き、学校との連携を行っていきます。
	⑩㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				
	⑩㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	⑩㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			高校を卒業し、障害福祉サービス事業所等へ移行する児童の、支援内容の情報を提供した。	
	⑩㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			法人内の児童発達支援センターと連携して、助言や研修を受けた。	継続して児童発達支援センターと連携して、助言や研修を受けていきます。
	⑩㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				
	⑩㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				
	⑩㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			放課後等デイサービス計画の面談以外に、定期的に保護者と連絡を取り、共通理解を持てるように心がけている。	日頃からのコミュニケーションを大切にします。
⑩㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			月一回、保護者のグループカウンセリングで、子どもと適切に関わるようにペアレント・トレーニング等を	保護者の参加を促していきます。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に説明をした。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からのご相談は出来るだけ傾聴し、適切な支援を行うように心掛けた。	日頃からのコミュニケーションを大切に相談しやすい関係を築いていきます。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母と先生の会やむぎパパの会等で、職員もともに活動している。	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				苦情があった際は、迅速かつ適切に対応します。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月クラス便りを配布し、行事や活動内容をお知らせした。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○				個人情報、鍵付き書庫に保管し、扱いに十分に注意し、管理します。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡漏れがないように、子どもと保護者両方に、情報伝達をするように心掛けた。	
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			感染症の対応について、施設の対応を、その都度お便りした。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月、地震、火災、水害いずれかの避難訓練を行った。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎週アンガーマネジメントの練習をクラスで行った。	助けを求めやすい職員の関係を築いていきます。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーのマニュアルに基づいて対応した。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットがあった場合は、マニュアルに基づいて、上司に報告している。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。